

公表: 令和5年4月3日

事業所名 児童発達支援センターすみれ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動や人数に合わせて、クラスや多目的室を分けて使用しています。	今後も活動内容、子どもの状況に応じて、部屋等の使い方を工夫します。(クラス活動、グループ活動の部屋の使い方の工夫)
	②	職員の配置数は適切であるか	○		クラスだけの対応では難しい場合、全体で考え、連携しました。	令和5年度新年度に向け、お子さんの状況に合わせ、活動の部屋や職員配置を工夫します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		ハード面上死角があるので、死角を減らすように環境設定に努めています。	子どもたちがわかりやすい環境設定を行います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		掃除、整理整頓。活動に合わせた環境づくりを行っています。	保育中、直接処遇職員以外が、砂が上がっている箇所等がないか見回ります。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在第三者による外部評価を受けておりません。現在は、評価視点を活用して、自己評価を行っています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修も含め、自己学習を行っています。内部研修、法人研修の受講をしています。	リモート研修等も含め、自己研鑽に努めていきたいと考えています。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		懇談の中でご家族の思いも聞いたうえで計画書を作成できるように心掛けています。	子どもの状況を把握するためには、適切なアセスメントが必要です。アセスメントを行ったうえで、今後の目標設定を行いたいと考えています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			

支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		計画に基づいた日課づくりを行い、実施している。	本人を中心に置き、関係機関と連携し環境づくり、今後の目標について連携していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		各々が意識し、支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎日の保育後の子どもたちの姿を振り返り、翌日に生かすようにしています。子どもの姿、季節等で行事計画を立てています。クラス、全体職員で話し合いの場を設け、検討しています。	子ども一人ひとりの姿を捉え、活動計画を立て、実施します。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日、活動内容や役割分担の共有を大切にしています。	職員共有し、子どもたちが安心して過ごすための役割分担、共有を行います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		次の活動につなげるために、振り返りや意見交換を行っています。十分と言えないことがあるので、努めたいと考えます。	子どもの姿を共有することが大切だと考えます。情報共有、翌日以降の保育に生かせるように努めます。定期的な会議を継続し行います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録をとり、共有できるようにしています。	記録をとり、具体的な支援方法を共有できるように努めていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		変更が必要な場合はリアルタイムで行っています。	必要に応じて、モニタリングを行います。
	関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		原則、児童発達支援責任者と担当が出席して共有するようにしています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		努めているが十分でない部分があると感じることがあります。	一人のお子さんを中心に考えるにあたり、関係機関との連携が不可欠です。努めていきます。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			現在の体制で行う上で、できること・できないことがあるので、保護者の方との相談、関係機関との連携に努めました。	保護者の方との相談の中で、現在の施設でできること・できないことを確認した上で、サポート体制を作りたいと考えます。そのために、関係機関と連携をとっていきたいです。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		少しずつ進めることができます。つながる幼稚園や保育園が増えています。	地域移行については関係機関の職員の方と連携を取り進めたいと考えています。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		引継ぎ文書、会議の実施を通して行っています。	子どもたちが次のライフステージ上で楽しめるように情報共有、連携に努めていきます。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	連携方法は、担当者会議、電話連絡が主。年度後半からは、センター間の行き来も少しずつ出てきています。	今後、外部連携や研修等の機会を持ち、参加していきたいと考えています。また、センターとしての研修会を計画実施していきたいと考えています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		コロナ禍で3年間、近隣保育園との交流を中止していました。	保育園との検討会議を行い、再開について相談をしています。近隣状況を踏まえ、保育園と計画していきたいと考えています。	
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会には法人の相談センターが参加しています。市の子ども部会には、今年から参加しています。	今後も地域状況を知り、一緒に検討できるように参加します。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者の方とお話することで、共通認識の上で支援ができるということを実感しています。	保護者の方と共通理解を持ち、サポートすることが重要です。日々の子どもの姿を伝え、今後の見通し、目標について共有できるように努めます。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか	○		努めているが十分とは言えません。	子どもの状況、成長点を伝えながら、目の前の子どもを通して、サポートしていきたいと考えます。	
	保護者へ	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
		㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
㉚		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		努めたいです。上司と相談することも行いながら努めたいです。	ご家族の気持ちに寄り添いながら、必要に応じてサポートできるようにしていきます。	
㉛		保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年、参観が少しずつ再開できました。今後、少しずつ再開していきたいと考えます。	令和5年度も保護者のつながりを意識した行事を計画していきたいと考えます。	

の 説 明 責 任 等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の保管、処理の仕方には十分に気をつけています。	個人情報保護方針に沿って、個人情報の取り扱いには十分に意識していきます。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の方に入っている機会はなかなかつくれていません。	今後、交流の再開に向け関係機関と検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを改定したり、定期的な訓練によりいざというときの意識が高まっています。継続したいです。	定期的なマニュアルの見直し、定期的な訓練を継続し、職員の意識を高めます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		クラスだけでなく、全体でも共有できています。	いつだれが対応するかわからないので、子どもの状況については全体で共有します。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		共有することで、同じヒヤリハットを防ぐことにつながっています。	ヒヤリハット報告の共有と分析、今後の対応についての全体共有を継続し、大きな事故等につながらないように努めていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		セルフチェックシートや研修でのワークにより、意識が高まっています。	定期的な振り返り、職員研修を確保し、職員の意識継続に努めます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。